

民営化した保育所の保育内容等検証委員会（第6回会議）議事概要

- 1 開催日時 平成19年11月27日（火）17:30～19:00
- 2 開催場所 福岡市役所 15階 1503会議室
- 3 出席者 出席委員 5名
針塚委員（座長），笠原委員（副座長），波多江委員，藤村委員
森田委員
- 4 内 容 ・検証結果報告書案について
- 5 議事要旨

意見交換

座長 前回の検証委員会の意見を基に作成した報告書の案について，議論いただき最終的な報告書にしたいと考えている。

委員 7ページ（2）保育所運営全般の8行目「保護者の子育て支援への配慮も伺える」を「保護者への子育て支援にも配慮が伺える」としたらどうか。

委員 異議なし

委員 7ページ（3）保育内容の3行目「保育内容がやや学習的な内容に変わったが，結果的には，保護者から高い評価を受けている」とあるが，高い評価をしている保護者ばかりではなく，理解に向かっている保護者もいるため，そういう表現が良い。

委員 「保育に学習的な内容を取り入れた。この点について，当初は説明不足の部分もあったが，その後，園が説明を行ったことにより，現在では，理解を得て実施されてきている。」でどうか。

委員 異議なし

委員 8ページ（4）保育所職員と保護者との関係の2行目「現在は忌憚なく意見交換が行われ，相互理解が図られている。」と，下から3行目「職員と保護者とのコミュニケーションに課題が残る保育所もあるが」が矛盾している。

委員 課題が残る園もあるが，全体としては信頼関係が形成されてきていると評価できることから，2行目の「現在は忌憚なく意見交換が行われ」を取り，「その後，相互理解が図られてきている。」でどうか。

委員 異議なし

委員 9ページの付記について、行政のサポートによりコミュニケーションを進めていくということが、移管する時のスケジュールや説明の方法が大事だと思う。付記の中にもう少しそういう点が必要だと思う。

委員 民営化に関する手続きを書くと、委員会が民営化を前提としていると思われる。

委員 民営化の是非を言っているのではない。報告書の中でも「当初は」という表現もしており、その当初の問題に全く触れないでいいのかという事である。「こうあるべきである」と言うようなことを書く必要があると思う。

委員 現状の評価をするのに、過去は全く関係なく今だけということは難しい。因果関係が関わっているから、過去の事も視野に入れながらサポートが必要と思う。

委員 9ページ7行目の「それが信頼関係の形成の妨げとなっている事象が見受けられた。」の後に「この点については、移管までのスケジュールや保護者等に対する説明に関し、工夫の必要性が感じられた。」と追加したらどうか。

委員 異議なし

座長 本日の修正については、私にご一任いただければと思うが、いかがか。

委員 異議なし

座長挨拶

こども未来局長挨拶

以上